

公益財団法人 日本城郭協会 2019年度事業計画

2019年3月

1、「城郭文化振興に寄与した個人及び団体を顕彰する事業」を創設

当協会が提唱した「日本100名城」・「続日本100名城」へのスタンプラリーへの参加者はさらに増加しており、外国人旅行者のお城探訪者の増加と相まって「お城」に対する社会的関心はますます高まっている。

こうした環境を踏まえ、当協会は城郭文化のさらなる振興のための事業として、2019年度に城郭文化振興に寄与した個人・団体を顕彰する制度を創設する。

具体的には 個人では城郭研究分野で功績のあった若手研究者を顕彰する。

また団体では城郭の保存や発掘や振興に評価の高い団体（城）を表彰する。

具体的な内容は6月の評議員会、理事会に諮り決定する。

2「会員倍增計画—会員増強への取り組み強化—」

協会の事業や活動を支えてくれる会員の増強は協会の運営の基本活動である。会員は近年増加しているが、本年度は特に会員倍增（1500人）を目指して全力を挙げて取り組む。

そのための方策として会員がメリットを感じるサービスや事業を新たに構築しアピールする。

また7月と12月を会員増強キャンペーン月間として会員や関係者から紹介の入会者は入会金を半額とするなど様々な提案をお城ファンに伝える。

さらに法人会員勧誘にも積極的に取り組む。

そのほか会員サービスの強化の一環として会報の一層の充実を図り、会員からの寄稿欄の拡充や城郭情報収集のための広報協力員の増加を検討する。

協会のホームページは一新して見やすくなったこともあり、協会へのアクセスは急増している。

2019年度は当協会の公認サイト「城びと」と連携してさらに魅力のあるホームページを目指す。

3、「日本100名城スタンプラリー」・「続日本100名城スタンプラリー」の運営およびPR強化

平成29年4月にスタートした「続日本100名城スタンプラリー」は

「日本100名城スタンプラリー」と相まって多くのお城ファンに支持され

参加者もますます増えている。協会はこれまで参加者の要望をスタンプラリー

の運営に反映してきたが、2019年度も参加者にとって親切な運営を心掛け、

城郭管理者と連絡しながらスタンプ設置場所やスタンプの状態改善などに努力

する。

また「100名城スタンプラリー」自体を知らないお城ファンもまだ多いことから

PRを一層強化する。

4、日本城郭協会・花王との共同活動「城のトイレ環境整備活動」の推進

当協会は2018年「花王グループ・カスタマーズマーケティング」と共に

「お城のトイレ環境整備活動」をスタートさせたが、2019年度も引き続き

各地の城で「トイレ清掃」の講習などの活動を積極的に展開していく。

5、「お城EXPO・2019」の開催

2016年12月にパシフィコ横浜で初めて開催し評価を得た「お城EXPO」だが、2019年度も「お城EXPO・2019」として12月に開催する。

主催4者「(公財)日本城郭協会・(株)ムラヤマ・(株)東北新社・(株)パシフィコ横浜」による実行委員会の構成は変わらず、より魅力的なイベントを開発展開して、入場者増を図る。

なお2018年のEXPOの講演(厳選プログラム)の記録集を作成、有料頒布の予定。

6、「城の自由研究コンテスト」「親子名城見学会」の継続・強化

「城の自由研究コンテスト」「親子名城見学会」は児童・保護者さらに教育関係者からの評価も高く、大きな教育的成果を上げたが、2019年度も一層の充実を図る。

「城の自由研究コンテスト」は応募数増加を目指し学校や教員への広報を強化する。また特定の地域を設定して広報展開し効果を見極める。

「親子名城見学会」は2019年度も7月、8月の期間全国5城で開催する。

開催予定城は 江戸城、駿府城、高島城、明石城、高知城。

7、「日本城郭検定」及び「EXPO 検定」の強化・充実

日本城郭検定は本年も6月と11月の2回開催とする。11月は受験者の便宜を図るため試験会場を1か所増やし全国で5箇所開催を検討する。

「お城 EXPO」会場で行っている「EXPO 検定」についてはビジュアル的な問題が好評だが、PR 不足との声もあり、広報展開を強化する。

8、「熊本城復興義援金などの熊本城復興支援事業を継続」

平成28年度新設した熊本城復興支援のための「熊本城復興義援金」は30年度も継続し様々な場面で幅広く寄付金を募り、復興支援を継続する

9、「城郭セミナー及び城郭イベントの開催」

お城への社会的関心を広げる活動として各県、各市の生涯学習センターと協力して城郭講座や城郭セミナーの開催を検討、実施する。

10、「学術委員会の活動強化及び学術委員の拡充」

学術委員会の活動を強化する。お城 EXPO の講演企画にも積極的に関与すると共に「日本城郭検定」の問題作成を主導し、検定問題の充実を図る。

また当協会の公認サイト「城びと」へ協力を強化するほか、「城郭講座・城郭セミナー」開催など積極的に対応する。

学術委員に城郭研究者や各城の学芸員を新たに委嘱する。

11、「ヨーロッパ100名城の調査・研究会」

「ヨーロッパ 100 名城」の社会的認知度を高めるための調査研究の

旅行企画などを旅行会社と提携して実施を検討する。

12、「テレビ・新聞・出版物への監修・助言の体制強化」

テレビ・新聞などマスコミの城郭に関する問い合わせには、学術委員と

協力して事務局全体で対応する。また一般の人々からの質問にも

きめ細かく回答して感謝されているが、データの整備など体制を

さらに充実させる